

6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし



袋川流域 六古墳・墳墓、一古墳群



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

袋川流域 六古墳・墳墓、一古墳群

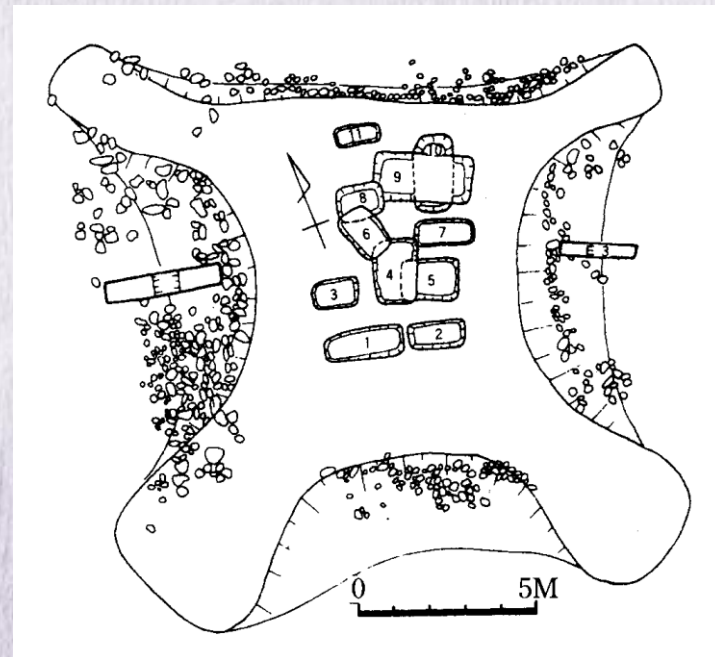
- ①二位の尼の伝説〈新井の石舟古墳〉
- ②糸谷1号墓
- ③梶山古墳
- ④神垣古墳
- ⑤鷺山古墳
- ⑥姫塚古墳

①二位の尼の伝説〈新井の石舟古墳〉

安徳天皇の祖母、二位の尼が亡くなり、泉が谷の石舟に葬られました。二位の尼の墓所があるところからこの地を“二位”と読んでいましたが、後に“新井”と改められました。

②糸谷1号墓

糸谷集落西側の字山ヶ鼻に、ほぼ南に向かって舌状に延びた、比高20m余の小丘陵があり、そこに一二基の古墳が築造されています。国府町最古の古墳群、糸谷古墳群で糸谷一号墳は、当古墳群にあって最古の位置にある古墳です。



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

袋川流域 六古墳・墳墓、一古墳群

③ 梶山古墳

梶山古墳は7世紀頃築造されたとする日本最古の方形壇を持つ変形八角形古墳で、魚をモチーフとした石室内の彩色壁画は全国的にも珍しく、中国地方では奈良の高松塚古墳に次ぐものとして高い評価を受けています。



④ 神垣古墳

盛土はほとんど流出しており、おまけに埋葬施設の横穴式石室部もなくなっています。

⑤ 鷺山古墳

県指定で線刻壁画では代表的な古墳である。

⑥ 姫塚古墳

美敷集落の東側丘陵の西斜面にある。周辺は江戸時代から墓地となっています。



宮下古墳群



稲葉山から南へ山脚が延びる尾根には、50基ほどの古墳が確認されており、宮下古墳群と呼ばれています。

大半は直径10mから20mぐらいの円墳ですが、中には全長39mもある前方後円墳の大平（おおなる）1号墳や直径40mの大円墳の宮下24号墳などもあります。

ほとんどが6世紀から7世紀ごろの古墳時代後期の古墳で、横穴式石室を埋葬施設としており、19・20・22号墳の横穴式石室には、木の葉・舟・鳥などの線刻の壁画が描かれています。



岡益の石堂とエンタシス



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

岡益の石堂とエンタシス

御陵山の麓には6m四方の基壇の上に厚さ40cmの壁石で囲まれた石室があり、石室中央の柱礎の上にエンタシス方式の円柱が立てられ、中台の裏の忍冬文(パルメット)の浮き彫りにされ大陸伝来説が強調された、山陰最古の7世紀後半の建造物である「岡益の石堂」があります。

また安徳天皇御陵参考地としての指定を受けています。当初の石堂は寛文2年(1662)の大地震で倒壊し、現在のものは近代の復元です。



鳥取城



鳥取城

中世の山城です。山名、吉川の城として戦国から近世まで因幡の中心となりました。自然の急峻な地形を要害として利用した名城です。



(築城)

天文14年（1545）に因幡守護の山名誠通（まさみち）が、天神山城の出城として久松山山頂部に築城したのが始まりといわれています。当時、誠通は同族の但馬守護山名祐豊（すけとよ）と争い、その来攻を防ぐためにこの城を築き守りを固めました。城が完成して3年後の天文17年（1548）、祐豊の攻撃を受けて天神山城は落城し、誠通も乱戦のなかに陣没しました。

(久松山)

鳥取市街地の東北にそびえる山で、山上に鳥取城があったため「城山」とも呼ばれている標高263mの山です。全山深成岩である花崗岩からなり、山勢は急ですが高さはほどよくハイキングなどの好適地となっています。

頂上には鳥取城の“詰の城”、すなわち本丸の天守閣跡・月見櫓の跡や古井戸などが残っており、山頂をやや降った辺りには門の跡・枡形なども見ることができます。



上地の棚田



上地の棚田

県内でも標高の高いところにある上地地区の棚田では、近年、農業従事者の減少に伴い田畑と用水路の維持が困難になり、耕作放棄地が増加していました。

そこでこの歴史的な用水路と棚田に対し、平成15年に有志によって「プロジェクト京ヶ原実行委員会」が立ち上げられました。

ボランティアと共に棚田と水路を保全に努め、酒米を栽培して新しい日本酒を特産品として作り上げて中山間地域の農村活性化につなげるといった取り組みが行われています。



河合谷高原の 四広場



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

河合谷高原の 四広場

- ①水とのふれあい広場 ②海に見える広場 ③せせらぎ広場 ④峠の見晴らし広場

①水とのふれあい広場

標高1100mの河合谷高原の中ほどにあり、麓には雨滝、牧場近くには天神池、これより先は河合谷大根畑やブナ林などがあります。公園内の滝から流れる水は扇ノ山の伏流水で、四季を通じ水温と水量が変わることはありません。岩場の滝から流れ落ちた水をすぐ近くで触れることができ、東屋やベンチなどが整備された清涼感のある公園です。



③せせらぎ広場

袋川の上流、上地川の京ヶ原用水路取水堰の近く標高約700mの位置にあります。上地川は扇ノ山から流れでて袋川に注いでいます。大自然に囲まれて、涼風に吹かれつつ川のせせらぎを聞きながら過ごせる公園です。



[河合谷牧場]

小林牧場の最盛期は大正の中頃で、昭和になってわずかに余命を保っていたにすぎなかった。現在では河合谷高原の茅野原に土塁が長く残っているだけである。



雨滝街道と十王峠



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

雨滝街道と十王峠

①雨滝霊山開拓者の碑

②雨瀧番所

③雨滝集落の木地屋

①雨滝霊山開拓者の碑

明治20年ごろ、山本啓法という修験者がいて、参詣人の記念祈願をしたり、病気をなおしたりして、生き仏のように尊敬されていました。碑はその山本啓法の雨滝霊山開拓をかたえたものです。



②雨瀧番所

幕末になると各国の藩士や浪士の往来が激しくなったため、鳥取藩では文久3年4月に各要所に番所を置きました。雨瀧番所は雨瀧橋から十王峠に向かう間に置かれ、鳥取から十王峠と女峠（洗井村より蒲生峠まで）を越えて但馬に通じる要所に設けられました。

③雨滝集落の木地屋

因幡山地の木地屋は、その製品を鳥取に集め、船で近江の日野に送っていましたが、因幡民談記には「雨滝の奥に、木地山木地挽数十軒あり、家具を挽き城下へ出して、船で近江の日野に行くなり」とあります。



十王峠の三伝説



十王峠の三伝説

①冥府への入り口伝説

②ケイ東塚の哀話

③太閤の一口水

①冥府への入り口伝説

十王とはこの世でおかした罪を裁く、秦広(しんこう)王(不動明王)・初江(しょこう)王(釈迦如来)・宗帝(そうてい)王(文殊菩薩)・五官(ごかん)王(普賢菩薩)・閻魔(えんま)王(地蔵菩薩)・変成(へんじょう)王(弥勒菩薩)・泰山(たいざん)王(薬師如来)・平等(びょうどう)王(観音菩薩)・都市(とし)王(勢至菩薩)・五道転輪(ごどうてんりん)王(阿弥陀如来)の十人の王たちのことであり、この峠があつた世の入口と信じられていました。

②ケイ東塚の哀話

十王峠を越えて銀山村へ向かう道沿いに酒屋がありましたが、ある冬、雪が家を押しつぶして一家の人々は残らず圧死してしまいました。その主人に“ケイ東”と法名がつけられたので、弔われたこの塚を「ケイ東塚」と呼びました。

③太閤の一口水

銀山村より登って十王峠の峰の右、道ばたの平地に清水が湧き出ています。羽柴秀吉が城攻めのためにこの峠を越そうとした際、炎暑で武将達が喉を乾かしていたので、秀吉が鎗の石突きを地に突き通したところ、そこから水が湧き出しました。その後、銀山が繁昌の時にここに鉛座を建てたので、鉛座清水ともいわれました。



因幡八景



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

因幡八景

因幡八景とは、因幡の地域を代表する八ヶ所の美しい景色です。中国湖南省にある名勝地・洞庭湖周辺の「瀟湘(しょうしょう)八景」に倣ったもので、湖山池を洞庭湖になぞってつくられたのではないのでしょうか。藩絵師沖家6代の沖探容が画を描き、鳥取藩士であり歌人である8人がそれぞれの情景に和歌を添えていると伝えられています。

- | | |
|--------|-------|
| ①湖山落雁 | ②丸山秋月 |
| ③妨己尾晩鐘 | ④賀露帰帆 |
| ⑤三嶋夜雨 | ⑥濱坂夕照 |
| ⑦松原晴嵐 | ⑧鷲峰暮雪 |

①湖山落雁
浦のはな おつる夕べの 秋風に入江の雁の
声ぞそひ行く
中島宜門（文化4～明治27）

②丸山秋月
まどかなる 月のひかりに霧はれて山のかひある
夜半の道かな
篠田惟成（不明～明治5）



③妨己尾晚鐘

かねのおとに 梅か香たくふ 夕風もまた春さむし つつらをの里

飯田秀雄（寛政3～安政6）加知弥神社宮司。国学者

④賀露帰帆

みなとえも ちかつく真帆の 追いかぜにさちつむ海士や 声きほふらむ

宮原 積（文政6～明治17）

⑤三嶋夜雨

なかれ江の ここはみしまの 影もなし竹の葉わりや 雨になりゆく

山杉大茂（寛政8～明治3）国学者

⑥濱坂夕照

青うな原 浪よりかけて まさこちに夕月かがやく 濱坂の里

加須屋武義（不明～慶応元）

⑦松原晴嵐

あらぼらけ 露なかるる 松はらに夜ハのあらしの ゆくへをぞみる

小谷古陰（文政4～明治15）国学者

⑧鷲峰暮雪

晴曇る いり日の影も 降る雪のそらにみたるる わしの山風

飯門年平（文政3～明治19）国学者



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

因幡八景

①湖山落雁

のはな おつる夕べの 秋風に
入江の雁の 声こそひ行く

中島宣門（文化4〜明治27）



（資料提供：鳥取市歴史博物館）

②丸山秋月

まどかなる 月のひかりに 霧はれて
山のかひある 夜半の遠かな

篠田惟成（不明〜明治5）



（資料提供：鳥取市歴史博物館）

③防己尾晚鐘

かねのおとに 梅か香たくふ 夕風も
また香らむし つつらをの里

飯田英雄（寛政3〜安政6）
加知勢神社高司／国学者



（資料提供：鳥取市歴史博物館）

④賀露舳帆

みなとえも ちかつく真帆の 差いかぜに
さちつ七瀬土や 声まほふことし

宮原種（文政6〜明治17）



（資料提供：鳥取市歴史博物館）

6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

因幡八景

5 三輪夜雨

なかれ正の
竹の葉わりや 雨になりゆく

山杉大茂(寛政8〜明治3)国学者



(資料提供：鳥取市歴史博物館)

6 濱坂夕照

青うな原 浪よりかけて まさこちに
夕月かがやく 濱坂の里

加瀬屋世義(不明〜慶応元)



(資料提供：鳥取市歴史博物館)

7 小松原晴嵐

あらばらけ 露なかるる 松はらに
夜ハのあらしの ゆくへをぞみる

小谷古陸(文政4〜明治15)国学者



(資料提供：鳥取市歴史博物館)

8 鷲峰暮雪

晴垂る いろ日の影も 暮る雪の
さらにみたるる わしの山嵐

飯門年平(文政3〜明治19)国学者



(資料提供：鳥取市歴史博物館)

殿ダムを囲む 二自然公園



①山陰海岸国立公園

②氷ノ山・後山・郡岐山国定公園

①山陰海岸国立公園

〔指定昭和三八年七月一五日〕 東は京都府竹野郡網野町から兵庫輿を経て、西は鳥取市浜坂砂丘の千代川河口まで、全長77kmにも及ぶ細長い区域が、山陰海岸国立公園です。

トンネルの多い山陰線の車窓から見え隠れする海岸風景は、それほど大きな変化はないが、いたるところに岬が海中に突き出し、あるいは入江となり、澄明な海のなかにマツに覆われた美しい小島が散在しています。

また、海食によってできた珍しい形の岩が怒濤に洗われ、奇怪な形に削られた洞門がつづいて、自然の造形の妙を見せています。

②氷ノ山・後山・郡岐山国定公園

〔指定 昭和44年4月10日〕

この公園は氷ノ山（1、510メートル）を主峰に1、000～1、300メートルの山々からなる山岳公園で鳥取、兵庫、岡山の三県にまたがっています。

この公園にはブナの原始林をはじめ、コケモモ、ツガザクラ、等の高山植物が分布し、また、ツキノワグマ、サル、イヌワシ等の動物が生息しています。



[鳥取港（賀露港）]

港付近には石器時代の遺跡が多く、辺り一帯はかなり早くからひらけていたと考えられています。

孝謙天皇の天平勝宝六年（754）、吉備真備が唐から帰朝の折り難破して、賀露の沖の小島に漂着したという話も伝わっており、古代先住民族時代から港としての概能をもち、朝鮮・隠岐・但馬・出書方面との交通の要路にあたっていたとみられています。

経済的発展をみたのは、鳥取の城下町が完成したころからで、その外港として大いに利用されることになり藩政時代には藩の御番所が置かれ、貿易港として繁栄しました。

しかし、港は砂浜によってつくられていたので、風波や洪水などでしばしば形や港口の位置を変えていました。

近代的な港湾としての形が整えられたのは明治22年ごろのことで、西浜から磯島にいたる約100mに防波堤が築造され、その後東浜の突端にも防波堤が築かれました。

また、大正13年には東浜防波堤を延長し、さらに昭和四年、西防波堤の補強改修工事が施されて、やっと港口が定まりました。

しかし、千代川の河口港であるため、流砂堆積の進度が早く、港内・港口がたびたび災害を受けることから、昭和四九年、建設省のもとで港湾整備が計画され、河口を変更して川と港を分離する工事が行われました。



鳥取を学べる 四博物館



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

鳥取を学べる 四博物館

- ① 因幡万葉歴史館
- ② 鳥取県立博物館
- ③ 鳥取砂丘こどもの国
- ④ 鳥取市立歴史博物館

① 因幡万葉歴史館

因幡に華開いた万葉・王朝文化や、因幡地方に伝わる「麒麟獅子舞」・「因幡の傘踊り」が一堂に集い、コンピュータ・ハイビジョンを駆使した、新しいタイプの館として平成六年オープン。

万葉貴族の庭園を摸した池水や、四季の万葉植物を回遊できる庭園。高さ30mの展望塔からは、因幡の原風景が広がります。

② 鳥取県立博物館

昭和四七年に西日本一の規模をもつ総合博物館として開設されました。県に関係の深い考古・民俗・美術・史料や、旧県立科学博物館が20年余りにわたって収集した地学・生物学の自然科学資料を常時展示しています。

山陰海岸ジオパークに関連する資料では、鳥取砂丘に関する資料や、鳥取市国府町宮下の魚類化石をはじめとする鳥取層群の化石を展示。鳥取県の地形・地質についても模型を使用してわかりやすく解説されています。鳥取県の天然記念物に指定されている「扇ノ山の火山弾」は、扇ノ山が火山活動をしていた約200万年前頃、噴火によって溶岩の破片が空気中に放出され紡錘形になったもの。このような大きな火山弾（長さ105cm・重さ336kg）は大変珍しいものです。



③鳥取砂丘こどもの国

鳥取砂丘を歴史・自然科学両面から解説する自然科学館をはじめ、児童館・砂丘館・レストラン・あそびシェルター・砂の工房・プラネタリウム・音楽堂などの施設が整っており、サイクリング道路もひらかれています。

④鳥取市立歴史博物館

鳥取市の樗谿公園内に平成12年7月1日オープンしました。子どもから大人まで、鳥取の歴史、風土について楽しく学べる体験型博物館です。鳥取城シアターではCGにより想定復元された鳥取城内を疑似散策できます。また、江戸時代後期の城下町・鳥取の状況をパネルや実物資料で紹介するだけでなくコンピュータでも検索できるようになっており、当時の人々の暮らしの様子を身近に感じることができます。



三研究施設



三研究施設

- ①鳥取県埋蔵文化財センター
- ②砂丘研究所
- ③国立大学法人鳥取大学乾燥地研究センター

- ①鳥取県埋蔵文化財センター
- ②砂丘研究所
- ③国立大学法人鳥取大学乾燥地研究センター

世界の乾燥地研究ネットワークの中核的役割を担う研究施設。アリドドームは、複数の研究者が自由に動き回れる規模の大型人工環境制御施設であり、世界各地の乾燥地の現地情報に基づいてシミュレーション実験を行うことができます。



鳥取砂丘 四情報館



6. 因幡万葉の里の歴史と暮らし

鳥取砂丘 三情報館

- ①鳥取砂丘情報館「サンドパルとっとり」
- ②鳥取砂丘パークインフォメーション
- ③鳥取砂丘ジオパークセンター
- ④鳥取県立とっとり賀露かにっこ館

①鳥取砂丘情報館 「サンドパルとっとり」

鳥取砂丘の情報拠点施設。鳥取砂丘の紹介や説明の他、観光案内、インターネットコーナーも完備。雄大な砂丘をテーマにした日本画家「松尾多英」の26枚連作「砂」を常設展示。

②鳥取砂丘パークインフォメーション

鳥取砂丘市営駐車場に平成13年の春オープンした施設で、普段知ることのない砂丘の様々な情報を展示している他、砂丘を歩いた足を洗う「足洗い場」やコインロッカーが設置されています。

③鳥取砂丘ジオパークセンター

2010年春開設。鳥取砂丘の砂や植物などをわかりやすく展示・紹介する施設。砂丘の風景や魅力を撮影したハイビジョン映像も楽しめる。風紋発生風洞実験も行っています。

④鳥取県立とっとり賀露かにっこ館

海の生き物に直接さわることができる水槽をはじめ、「松葉がに」や世界一大きくなる「タカアシガニ」など多くの生き物が間近に見られる、カニが主役の小さな水族館です。



〔上山高原エコミュージアム・上山高原ふるさと館〕

上山高原エコミュージアムでは、地域の様々な有形無形の資源を地域の人々が中心となり、活かしながら保全する取り組みを行っています。上山高原と麓の八田集落にみる環境と共生した暮らしの知恵を学び、実践する場をつくるために、地域住民はじめ、個人・団体・NPO・事業者・行政など多様な主体が参画、協働しています。

2006年7月にオープンした上山高原ふるさと館は、この上山高原エコミュージアムの活動拠点として、上山高原周辺地域の自然や生物を紹介したり、地域の歴史・文化に関する資料展示などを行っています。また、自然観察会や地域の案内を発信し、上山高原周辺をフィールドに山歩きをする人たちをサポートしています。

〔おもしろ昆虫化石館〕

古代がよみがえる！国内有数の化石産出地・新温泉町に、全国初の昆虫化石博物館があります。照来層群で産出された珍しい昆虫・植物化石を始め、地球の歴史を学習できる施設です。化石解説パネル、化石地層レプリカファンタビュー（立体映像）、採集の仕方パネル、採集道具展示・実物展示、採集テーブルなどがあり、子どもでも分かりやすい内容です。



鳥取・砂丘の二食



鳥取・砂丘の二食

①二十世紀梨

②砂丘らっきょう

①二十世紀梨

生産量日本一を誇り、鳥取県を代表する味覚の二十世紀梨。果汁たっぷりでみずみずしく、さっぱりとしてさわやかな甘みが魅力で、8月～9月のシーズンにはもぎたてが味わえる梨狩り園が賑わいます。



②砂丘らっきょう

鳥取砂丘の砂地をいかし栽培される砂丘らっきょうは、色白で姿形が美しく、肉質はしまりシャリシャリと歯ざわりも楽しめます。一日4粒食べることで、血液サラサラ効果があると紹介され、その健康効果にも注目が集まっています。

